岩五の道徳

「～心豊かな人～」

江戸川区立小岩第五中学校
道徳だより　第７号
令和３年２月 17 日

１学年　『自分で決める』

現在１年生では、進路学習として「職業調べ」を行なっています。
３年生の先輩方の、受験に向かって突き進む真剣な姿を見ながら、２年後の自分の姿をイメージし、将来について考える機会も多くなってきていることでしょう。

中学校を卒業して、どんな進路を選択し、どんな職業に就くのか、どんな人生を送るのか…**決めるのは自分**です。

先日の道徳の授業では

「何か大きなことを決断する時、あなたは何を大切にして考えますか？」

という問いに対して、それぞれの生徒が意見を出し合い、仲間と自分の考え方の違いを感じながら深めていくことのできた時間でした。授業内で挙がった、生徒のみなさんの考えを紹介します。

Q　人生の中の大きな決断を、具体的に書き出しましょう。
また、そのときにどのようなことを大切にしようと思いますか。

具体的場面	大切にしようと思うこと
進　学	自分の気持ち・後悔しないか・学力・通学距離・自分の夢・校舎のキレイさ 家族の意見・周囲からのアドバイス・周囲に迷惑をかけないか
就　職	仕事内容・職場の雰囲気・給料・得意なことが生かせるか・やっていて楽しいか
交際・結婚	清潔感・性格・上手くやっていけるか・相手を幸せにできるか 自分の気持ちと相手の気持ち・人生で今後ずっと一緒にいられるか 中身と外見・そもそもするかしないか

その他にも
「大きな買い物をするとき」…　本当にこれから長く使えるものなのか。必要なのか。
「告白されて断るとき」　　…　相手を傷つけないように。
「娘をお嫁に出すか出さないか決めるとき」…男がしっかりして、礼儀がある人かどうか…など

中学１年生のみなさんも、自分なりの将来についてイメージを膨らませていました。
生徒１人１人の回答は、個性あふれる素晴らしいものでした。

※　裏面では、今回扱った道徳教材のあらすじと、生徒の反応を紹介します。

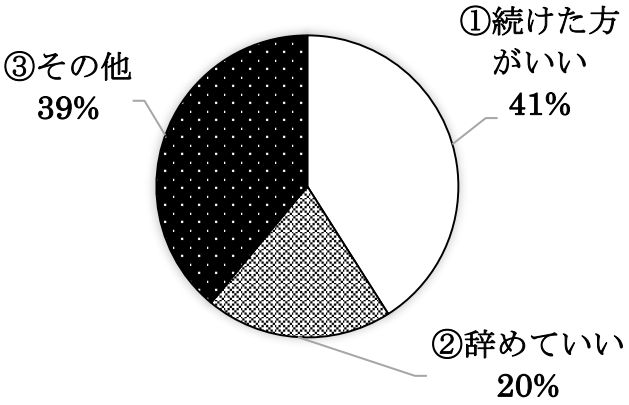
話のあらすじ

中学入学時、自らの夢や目標から吹奏楽部への入部を考えていた陽香里。仲良くなった友達にも誘われ、本当に続けられるのか心配する両親に対して「自分で決めたことだから、大丈夫！」と言って吹奏楽部に入部した。しかし、現実は地味な基礎練習ばかり。イメージしていた毎日を送ることはできず、思ったように上達もしない。なにかと言い訳をつけて、部活をさぼるようになった。ある日、一緒に吹奏楽部に入部した友達から
「つまらないから吹奏楽部やめよう。入部も自分で決めたのだから、やめるのも自由でしょ。」
と言われ、陽香里はどうするべきなのか葛藤する…

授業ワークシートより

Q　陽香里から
「部活を辞めるか辞めないかで悩んでいる」
と相談を受けたとき

あなたならどんなアドバイスをしますか？



① **続けた方がいい**

「お母さんと約束したのだから」「友達に流されてはいけない」「もう少し続ければ楽しくなる」「軽い気持ちで辞めるのは良くない」「後悔する」など、辞めるのを引き留める記述がありました。

② **辞めていい**

「自分のやりたいようにすればいい」「自分の自由だから」などの声掛け。
その一方で
「本当に辛いのなら…」
「よく考えて、もっとやりたいことを見つけたのなら…」
「ちゃんとやっていてもつまらないのなら…」
と、現状に対する本人の姿勢や辞めた後のことについて考えさせる記述がありました。

③ **その他**

「きっともう少し続けたら楽しくなるから頑張ってみたら？でも、自分が本当に辞めたいのなら、その時は辞めてもいいと思うよ。」など、続けられるように引き留めながら、最後は本人に任せるという、①②のどちらの立場も取り入れた記述が多数ありました。

最後に

大きな決断をするとき、自分がどうしたいのか分からなくなったり、周囲の雰囲気に流されそうになったりすることがあると思います。そんな時は、家族や仲間などの周囲の意見も聞き、様々な角度から考えた上で**「自らが納得して決断をした」**と、心から思えるようにしていきたいという気持ちが、生徒のワークシートから伝わってきました。